

音楽家のジストニアネットワーク設立に関するご案内

長谷川メンタルヘルス研究所では、**音楽家のジストニアネットワーク**を準備中です。

このネットワークは、演奏活動と音楽家のジストニアという経験を共有できるメンバーが集まり、身体・心理・社会的な悩みの軽減に向けて情報交換や学び合いを行ってゆくグループです。

講師は、野網恵(博士: 医科学、臨床心理士、公認心理師)が担当させていただきます。

詳細は、追ってこのホームページ上でお知らせします。

ジストニア

意志によらず生じる骨格筋のやや長い収縮、もしくは間欠的な筋収縮を伴う運動障害で、全国で数万人が罹患し、軽度であっても働き盛りの方が仕事ができなくなることもある重要な神経疾患です。

音楽家のジストニア

鍵盤楽器奏者・撥弦楽器奏者の手指、管楽器奏者のアンブシュア、打楽器奏者の腕や脚など、長年に亘り高度に複雑で正確な反復運動を行ってきた身体部位に発症すると考えられている、職業性ジストニアの一つです。

症状の特徴は、演奏時に症状が発現する「動作特異性」、症状が定型的である「定型性」、ある感覚入力によって症状が軽減する「感覚トリック」です。

症状増悪への、不安やストレスの関与が示唆されています。

出典: 日本神経学会監修. 「ジストニア診療ガイドライン」作成委員会編集. ジストニア診療ガイドライン 2018.

Altenmüller E, Jabusch HC. Focal hand dystonia in musicians: phenomenology, etiology, and psychological trigger factors. Journal of Hand Therapy 2009;22:144-155.